

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
高等学校	和歌山県立有田中央高等学校清水分校	庄田卓爾
学校所在地		
〒643-0521 和歌山県有田郡有田川町清水1028 tel 0737(25)0055 fax 0737(25)1305		
担当者名	担当教科	
生駒亮司	特活部長	
<p>〔学校の概要〕</p> <p>本校は、有田郡有田川町清水（旧清水町）にある。昭和24年県立吉備高等学校八幡分校として開校する。昭和40年 校名改称して吉備高等学校清水分校、また平成9年には現在の有田中央高等学校清水分校となる。</p> <p>高台にある本校下を国道480号線が通る。清水地区を通り抜けるには車で1時間近くかかり、広くて小さな町である。少子高齢化が進み、本年度は3学年で生徒は15名の山の分校である。</p> <p>地元の保育園、小・中学校との交流、障害者「ふれあいキャンプ」への参加、京都大学研究林の「森林ウォーク」体験、清水山椒を JR 和歌山駅前 で PR 活動、高齢者福祉センターの「介護体験」等々に積極的に参加し、自然体験や社会体験を通じて、「ものを育てる心・思いやりの心」「望ましい自然環境・社会環境作りができる力」を育成するために取り組んでいる。</p>		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年1・2・3年生 15名	10名	世界遺産熊野本宮館・熊野参詣道（伏拝王子～熊野大社）
実践研究テーマ		
世界遺産を通して地域の歴史文化を学ぶ		
実践教科等名	単元名	
総合学習	世界遺産熊野参詣道研修	
〔キーワード〕 世界遺産 郷土学習 地域学習		
〔単元目標〕		
<p>① 自然と人間の営みが長い時間をかけて作りあげてきた特別な意味のある景観について理解する。</p> <p>② 「紀伊山地の霊場と参道道」に関する基本的な知識について学ぶ。</p> <p>③ 講習や現地学習を通して熊野古道の魅力を体験的に学び、その魅力や価値を理解する。</p>		
〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕		
全体	8 時間	（「総合的な学習の時間1年・2年・3年」 時間 ）
〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕		
<p>① 和歌山県世界遺産センター・・・次世代育成事業（現地学習）</p> <p>② 和歌山県世界遺産センター・・・「世界遺産入門」講座</p> <p>③ 和歌山県世界遺産マスター・・・現地学習の案内・説明</p>		

実践に関する事項

〔単元指導計画概要〕

	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	総合の時間（3学年全員） ・世界遺産センターより派遣講話 （「世界の世界遺産入門講座」）	世界遺産とは？の基礎学習として種類・基準を理解すると共に危機にさらされている世界遺産について保存修復の必要性を知る。 「紀伊山地の霊場と参詣道」の登録経過や顕著な普遍的価値の意味を理解するなど。	視聴覚教室にて PP 視聴
2	現地学習① ・世界遺産センターにて紀伊山地の霊場と参詣道の DVD 鑑賞 ・センター南棟にて紀伊山地の霊場と参詣道の説明を聞く ・センター北棟にて熊野信仰について説明を聞く	館内展示見学 ・紀伊山地の霊場と参詣道を改めて確認する。 ・フィールドワークするための中辺路の道筋の確認。各王子の由来を知る。 ・熊野信仰に縁りのある和泉式部・小栗判官・一遍上人などの関わりを知る。	2 班に分かれる
3	現地学習② ・熊野古道フィールドワーク	伏拝王子・三軒茶屋・祓所王子・熊野大社の 4.8 km を歩き、大昔から受け継がれている道を、説明を聞きながら歩くことで、昔の人たちがどんな思いで歩いたかを想い、興味深い体験をする。	2 班に分かれる 世界遺産マスターのガイド
4	現地学習③ ・湯の峰温泉・つぼ湯見学	日本最古の温泉として世界で唯一世界遺産に登録されている湯の峰温泉を訪ねる。つぼ湯を見学して、熊野詣に行く旅人たちが身を清めた温泉の湯でゆでたゆでたまごを頂く。	
5	まとめ ・熊野参詣道を歩き、熊野信仰の歴史を知り、地域文化に触れた体験をまとめる。	生徒一人一人が体験して、気付いたこと・感動感心したことを振り返り調べをして、自分なりの考えをまとめる。	視聴覚教室 自己評価

〔単元学習の成果と課題〕

成果

- ・遠くにあった世界遺産を生徒達は身近に感じ、郷土の誇りに思うことができた。
- ・歴史・地理・文化・観光・産業などについて学び、歴史観、宗教観・地理観・などを深めることができた。
- ・体験や学習したことを振り返り、まとめることで表現力・創造力に大変効果があった。

課題・反省

- ・道普請等の内容の調べ学習を事前に充分深めておきたかった。
- ・これを機会に過疎化する本校地域の地域遺産や地域文化の価値観を見直し、地域貢献に取り組む姿勢に期待する。
- ・観光・産業調べから地域の経済効果等の調べ学習を深めたい。

〔世界遺産学習の効果〕

・生徒の感想より

- 「山の上から熊野川を見てきれいだと思った。雰囲気よさに感動した。昔の人もこんな思いで歩いたのかな？」
- 「昔の人が京都から 20 日かけて、帰りは 10 日で帰った。昔の人の話を聞いてみたいと思った。」
- 「自然にできたものではなく人の手が加わった道というのが意外だった。」
- 「角がある石段と角がない丸い石段。丸い石段は川から手作業で運んできた。」
- 「歩いた距離は 4.8 km。熊野本宮大社に着いたときは達成感がありました。」
- 「マスターの方のお話は興味深い話ばかりで、熊野古道をもっと知りたいと思いました。」
- 「湯の峰温泉、熊野詣でに行く旅人が湯垢離を行い身を清めた。」

事後指導がたいへん充実した。生徒同士が話し合い、PC で情報を集め、生徒一人一人が独自のまとめができた。まとめを苦手とする生徒が多いなか、生徒たちに雄大な自然が昔の人の生活を想像させたり、参詣道を護るための手立てを知ったりと、興味をかき立てられることが多く意義あるものだった。身の回りにある清水地域の魅力を再発見する手がかりに役立つことだろう。

〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕

世界遺産センターを訪ね、充実している施設・資料・その他情報にも興味を持ちました。ボランティア活動による道普請の取り組みが全国ネットであること、外国の人の訪問が多いことなどにもビックリしました。担当して頂いた方々にはたいへんお世話になりました。特に一人のからだの弱い生徒への手助けにはたいへん感謝しています。生徒達も楽しい一日をすごしたことだと思います。次の機会に、また訪問したいと思える場所となっていて欲しいと思います。

「 熊野古道を歩いて 」



今回、伏拝口バス停から熊野本宮大社までおよそ 4.8km の道のりを歩きました。

道のりは、険しいところもありましたが、階段があったりと、一部はボランティアの方々によってしっかりと整備、清掃されているみたいです。昔の人はほとんど整備されていないところを歩いていたと思うと、すごいと感じました。

平日でも人が多く、外国人観光客もいました。その際に何かあったときのために 500 m おきに、緊急時にかける電話番号などが書いている看板があり、有事の際でもしっかり対応ができるように配慮されているということがわかりました。

自分自身あまり世界遺産に触れたことがなく、今回実際に歩いてみて、熊野古道の自然を間近で感じる事ができ、とても良い体験になったと思います。歩き終わった後、湯の峰温泉につぼ湯の見学に行きましたが、残念ながらつぼ湯は台風の影響で見られませんでした。

今回の体験で和歌山にも熊野古道など、自然豊かで神秘的な地形があることがわかりました。

「 初めて歩いた熊野古道 」

いい天気の中、世界遺産の熊野古道へ歩きに行きました。伏拝バス停から熊野本宮大社の 4.8 キロメートルの道のりを歩きました。初めは、舗装された道でしたがだんだん木の根や石などが出てきて、ガタガタになっていきました。けれども、定期的に道普請といて、ボランティアの方々が道の掃除や手入れをされているそうです。いろんな企業が整備をしているので、砂や木が並べられていて、飛び出した所がそんなになく、歩きやすかったと思います。

この写真は、頂上から撮った写真です。木と木の間から熊野川が見えています。たくさん歩いた事がよくわかりました。歩いた中で一番景色が広がっていました。頂上も少し、野原っぽくなっていてピクニックでもできそうな感じがしました。もし、するのであればちゃんとゴミなど持って帰って、熊野古道を汚さないようにしないといけませんね。



「 熊野古道を歩いて 」

伏拝バス停から熊野本宮大社まで 4.8 Km の道のりでした。バス停からしばらくは舗装されたアスファルトの道を歩いたので実感が沸きにくかったです。山に入って、初めて古道を歩いていると感じました。木の根が出ていたり石が転がっていたりとほとんど獣道のような感じでした。



途中途中にあった石段もそこまできれいに並んでいるわけではなく、一段が大きかったり小さかったりとバラバラでした。歩きにくいと思うことが多かったのですが、今に比べて技術も道具も乏しい昔に作られた道だから当たり前、むしろこんな山の中によくここまで長い道を作れたなと関心もしました。

また、京都の貴族の人たちもここを歩いていたと思うと、その当時の様子や何十日もかけて歩いていくのが想像でき、その大変さも実感できました。歩くのに必死でしたが、たまに顔を上げて周りを見るときれいな森で、隙間から差し込む光がそれをさらに強く感じさせました。本当に自然ばかりで、金属などを使った人工物や、ナイロンやビニールといったゴミは見つからず、本当に昔とほとんど変わっていないんだらうなと思うとともに、この環境を整備されている人たちがすごく力を入れて行っていることも伝わってきました。少し気になり調べてみると、道普請といて、ボランティアで土の補充や浮き石拾いなどが行われていました。もう一つ驚いたのは観光客の多さでした。外国人も多く、世界に知られているものだという事をさらに実感させられました。

「 熊野古道を歩いてみた 」



11月9日に伏拝から本宮大社まで約 4.8 キロほど歩きました。前日は雨だったけど当日は晴れて良かったです。



熊野古道に着くと、空気がよくとても気持ち良かったです。寒いかなと思って厚着してきたけどお日様が出て少し暑かったです。歩き出すと民家や、椎茸、豆腐の車が通りました。すごく平和でなんていいところなんだと思いました。歩いていると本格的な山道に入っていきました。たくさん

さんの木々に囲まれていて上を見上げると青空があつて綺麗でした。木々の間から見えた民家の様子が今でもはっきり覚えてます。みんなとしゃべりながら歩いて行くと途中たくさんの外人さんがいました。歳いっている方もいたけどすいすい歩いて行っていたのですごいなあと思いました。歩いていると少し道が険しくなってきたので口数も減っていきました。途中高野山へ行くルートがあったのでいつか歩いてみたいと思いました。しんどかったけど景色がとても綺麗だったし世界遺産を歩くことができてとても貴重な体験だったと思いました。